

宝塚市協働のまちづくり促進委員会 協働のマニュアル策定部会(第1回) 会議録	
開催日時	平成26年6月23日(月) 19:00~21:00
開催場所	宝塚市市役所 研修室
次 第	1 開会 2 新委員の紹介について 3 第5回協働のまちづくり促進委員会議事録について 4 議事 (1) 部会長の指名について (2) マニュアル策定の基本コンセプトについて (3) 部会の進行について 5 職員研修会の実施について 6 閉会
出席委員	久委員長、飯室委員、河上委員、熊澤委員、檜垣委員、古泉委員、久米委員、渡邊委員、平山委員、田中委員
開催形態	公開(傍聴人0)

1 開会

第1回協働のマニュアル策定部会の開会。

事務局から、本日の委員出席者数は10人、欠席者1人であり、過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していることを報告した。

2 新委員の紹介について

吉田委員の辞任に伴い、古泉委員が新たに委員として委嘱された。

3 第5回協働のまちづくり促進委員会議事録について

事務局がホームページに掲載する議事録(案)を提示し、委員が修正箇所を指摘した。修正指示に従い修正した後に、ホームページに掲載することを委員が了承した。

4 議事

(1) 部会長の指名について

部会長は久委員長が兼ねることとなった。

(2)-1 マニュアル策定の基本コンセプトについて

ア 【部会長意見】どんなマニュアルをつくるのか、フリーディスカッションして認識を共有していきたいと思う。

イ 協働の指針は読みやすさ、市民目線を重視したものとした。

ウ なぜ協働が必要なのか、最初にきっちり伝えるべきだと思う。

エ 協働の指針を具体的に進めるためのマニュアルなので、対象はまちづくり協議会などで活動の中心となっている人たちで、活動に参加している人たちにも分かるようなものにしたい。

オ 条例、第5次総合計画、協働の指針、マニュアルと全体の構成が理解されないと、協働の必要性が十分に理解されないのではないかと。

カ 職員が協働を十分理解しているか疑問である。

キ 【部会長意見】 他市のマニュアルを事務局が用意しているので配布する。

ク 職員は事業に着目して「私の仕事に協働は関係がない」というが、施策、政策といった上位の体系に視点を移せば、協働していることに気が付くはずだ。

ケ 【部会長意見】 河内長野市のマニュアルの12ページにさきほどの意見がうまくまとめられている。

配布されたマニュアルのうち、一般的なものは摂津市のものだが、指針に当たるものとなっている。事例集のまとめ方は参考になると思う。河内長野市のマニュアルは、私も作成に携わったが、市民委員と職員で作上げた。2章では市民向けの内容と職員向けの内容に分けて整理し、全体をとおして漫画を多用し読みやすいものにした。長岡京市のマニュアルは、摂津市の事例集に似たものとなっている。門真市のマニュアルは、行政職員向けのもので、チェックシートなどが付いている。これらを参考にしながら議論してもいいと思う。

コ 宝塚市として誇れるものは何なのか分からないが、協働を始めるきっかけになるようなマニュアルを作って、少しでも良いまちにしていきたい。

サ 【部会長意見】 協働を述べる前に、宝塚市の原点のようなものを確認するための章を設けてもよいかもしれない。

シ 第5次総合計画を策定する際の市民アンケートを活用して、市民の意思を汲んでいく必要がある。

ス 【部会長意見】 総合計画では前段で自然、気候、歴史などが盛り込まれているが、後段の政策の内容にそれらが活かされていない。自然、気候、歴史などが政策の端々で活かされるように、原点を大切にすべきだと思う。

セ 全国的にメジャーな宝塚市だが、市民は宝塚市の成立ちをあまり知らない。

ソ 冊子を作るよりも、何度かリーフレットを配布してバインダーに差し込むようなスタイルにしたほうが、より周知が図れるのではないかと。

タ 【部会長意見】 河内長野市では概要版を作成し、ポケットサイズで職員が携行できるようにした。

チ マニュアルの策定に職員の参加があってもよいと思う。

ツ 事例集があると分かりやすいので、自治会などから協働の事例を集めてはどうか。

テ 【部会長意見】 河内長野市でも事例集が載せられているが、委員の間でも事例集の必要性は認識できていると思う。これまでも委員会で事例の発表もしており、それらをどう盛り込んでいくのか検討していきたいと思う。

次の議題の進め方にもかかわる問題でもあるが、職員参加のワークショップも良いものができるのであれば、やってみてもよい。必ずしもこのメンバーだけでマニュアルをつくる必要はない。

本音で職員と意見交換した事例を紹介する。NPOの方が「市は自治会とは関係

が深いが、NPOとは関係が薄い。なぜなのか。」と問うたところ、職員は「自治会は30年後もきっと存在するが、NPOは存在するかわからない。」と答えた。本音で意見交換することでNPOの方も自分たちの活動の継続性が重要であることに気付かされた。

また、行政は財政難や財政規模が小さくなって何もできないというが、昭和30年代のことを考えると、村役場や町役場はそんなにいろいろなことはやっていなかった。あるときから、行政がいろいろなことを取り込み始めたばかりにしんどいことになってしまっている。昔は村で自治をやっていて、役場に頼むことはほとんどない状態でやってきた。そう考えると、新しいことよりも昔のことを考えてみるとヒントがあるのではないか。

ト 一時、何でもやる課をつくるようなことがあったが、あれが一番よくない。

ナ 私たちは水を飲むことも行政に依存している。昔は依存が少なかったかもしれないが、依存度が大きくなり、今は行政に依存せず生きていくことが不可能である。

ニ 【部会長意見】近畿大学の近くの土地の名士は、近畿大学の土地や長瀬駅の土地を寄附したり、宅地開発のために水道管を敷設したりと、昔はそういう人がいた。宝塚にもそういう人がいたはずで、調べてみるのもよいのでは。

ヌ 西谷バスも有志で始めたのでは。

ネ 私は今までやってきた活動が協働だったと気付くことができたが、協働といわれると、また何か新しいことをやらなければならないと考える人たちも多くいると思う。今までの活動を少しでも発展させていけばよいということを伝えたい。

また、PTAの役員になると関係団体の役員をいくつも兼ねることになっており、仕事を持っていると全ての役割をこなすことは不可能で、役員の兼職をいくつか辞退しようと調整した。そのときに協議した行政職員は全員、一人の人間がいくつも役職を兼ねている事実を知っていなかった。行政内部の横の連携が取れていればこのような事態にはならなかったはずだ。

ノ 【部会長意見】吹田市では、協働の事業のリストをつくってもらったが、それにより行政が地元をお願いしていることがいかに多いのかに気が付いた。マニュアルをつくるうえでも協働の事業をリストアップすれば気づくことがあるのではないか。

ハ 民生委員も全く同じで、私もいくつも役職を兼ねている。会長になれば更に仕事が増えて大変だが、役所からの仕事だから、みんな協力している。

ヒ 共働きの夫婦だと、昔は祖父母が子どもの面倒をみていたが、今では核家族化で地域の支援が必要である。老人会や福祉活動委員会は継続して活動していけるが、自治会は毎年役員が交代して継続した活動ができておらず、活動に対する意識も薄れ、なかなか協働ができていない。みんなで助け合える環境を協働でつくりあげていきたい。

フ 民生委員の仕事でも自治会を通じて回覧で住民にお知らせすることがあるが、4割ほどしか自治会に加入していないので、住民全員に知らせなければならないことはポスティングもあわせて行った。

へ 集合住宅であれば掲示板に張るだけのようなこともあるが、各戸に配布する細やかさも必要ではないか。そのような中で市営住宅に自治会がないのがおかしいように思う。

ホ 依存できるので、自治会がなくても暮らしていけるからではないか。

マ 【部会長意見】宝塚市だけでなく、他の公営住宅でも同様である。

ミ 市営住宅でも苦勞して自治会を立ち上げられた例もある。

ム 市営住宅と賃貸の集合住宅は、自治会に加入されない方が多いが、ごみの問題にしても鳥や犬がごみを散乱させても掃除もしない。

メ P T Aや民生児童委員の役職が多くなる理由は、審議会などの委員を役職者でかためるからだと思う。公募委員も入るが、市民の意見を団体の意見としてまとめようとするからそうになってしまう。一般の市民が入れる100人委員会や女性ボードも終了してしまっており、一般の市民を協働に取り込む仕組みがなくなっている。無作為抽出で応募を募る方法も伊丹市では行っているが、一般の市民を取り込んでいく仕組みを仕組みづくり部会の方では議論していく必要があると思う。

モ 5次総合計画の関係の会議に、まちづくり協議会の会長として参加することになったが、会長以外のまちづくり協議会関係者ではだめなのか行政に確認したが、だめだということだった。役割が固定化されてしまっているが、いろいろな人に経験してもらおうほうがよいのではないかと思う。

また、自治会加入の件では、マンションの建設の際に自治会に加入してもらう仕組みがあれば、加入率が高まるのでないか。

ヤ 【部会長意見】吹田市のある自治会では、1人1役運動をやっている。行政からの委員選出の依頼があっても、会長以外の人を委員に就任し、会長一人に仕事が集中しないようにうまく割り振りしている。

ユ 私もそうしたかったが、市の方が会長でないといけないという決まりになっているとのことだった。

ヨ 昔はそれが合理的だったのかもしれないが、今の時代に合っていないのだと思う。

ワ まちづくり協議会がつけられたのは、自治会の組織率が低下していく中で、それでも活動が必要だから、何とかしないとけないということからだった。また、なぜ混乱しているかといえば、みんながルールどおりにやっていないからだ。河内長野市のマニュアルにもあるが、対等とか、相互理解の原則とか、そういうことをやっていない。みんなが楽に活動できるような方法をマニュアルに記載してはどうか。

ン 【部会長意見】河内長野市のマニュアルの16ページにうまく考え方がまとめられている。協働を進めるためには、気持ちも内容も分かって合意が形成されないとけない。

(2)－2 マニュアル策定の基本コンセプトについて

ア 逆瀬台小学校区では、自治会がまちづくり協議会の中核となっている。発足当初はまちづくり協議会と自治会が二元性だったと聞いているが、そのように変わっていったまちづくり協議会はあるのか。

- イ 末広コミュニティでは、当初は自治会の役員がコミュニティの執行部を兼ねていたが、今は別々で住み分けができています。校区が小さく、自治会数も少ないので、調整がうまくいったのだと思う。
- ウ 協働の仕組みづくり部会では、まちづくり協議会が何なのかというところから議論を始めることにしている。宝塚市は自治会が中心となってボランティア団体とかが集まってまちづくり協議会を結成するというようにしているが、地区によってやりやすいようにやってくださいということになったので、地区ごとに違う。うまくいっているところもあるし、ひと言ではいえない。
- エ 私のところは、意見の違いにより疎遠になったりするようなこともあったが、大きなトラブルもなくやってこられた。
- オ 人によって変わるので、自治会長が変わればまちづくり協議会とうまくいく場合もある。
- カ 【部会長意見】いろいろな団体があって、それらをつなぐのがまちづくり協議会だが、つながり方も見方次第で変わってくる。仕組みをいかにつくったとしても、それを動かす人次第などところがある。
- キ まちづくり協議会が全てできて、まちづくり計画をつくったが、そこから先に進んでいない。まちづくり基本条例も見直されていないし、新しく会長になった人達はそもそもまちづくり協議会が何であったのかを知らないし、伝えられていない。停滞の期間があってもがいているが、どのように議論をすすめていくのか、どのように事業をすすめていくのかをマニュアルで整理できればいいのではないかと思う。
- ク ピラミッド組織ではなく、ボランティアでやっているのだからフラットな関係でいいはずだ。役員がいなくとも、活動する人がいればまちづくり協議会は動いていく。
- ケ テーブル型、ネットワーク型であるのが、まちづくり協議会だ。
- コ 【部会長意見】ピラミッド型で動く組織は、行政もそうだが、ネットワーク型の組織と協働が困難である。ピラミッド型は決定権限が現場にないので、現場で判断ができない。そこをどう変えていくのかが、協働を進めるうえで、行政にとっても課題である。
- サ 何とかフラットな関係が築けないものか。
- シ 【部会長意見】 Honda は伝統的にワイガヤ会議といって、みんなフラットで、いろんな意見を出してそこから何かがうまれてくる。そういう関係が築ける企業は元気な企業である。
- ス 市民が意見を言えるようにならないものか。ワークショップなどに私が呼ばれても、私が行かなければ、誰かが行って発言してきてくれる。そんなふうにしてでも市民が意思を持てるような環境づくりができないものか。
- セ 【部会長意見】 会長さんたちに嘘でも病気になりませんかなどと言うことがある。そうすれば代わりに誰かが行ってくれるので、環境が変わってきます。

(3) 部会の進行について

- ア 【部会長意見】 次回以降どうするかですが、話をどう膨らませていくのかとどうまとめていくのかを考えなければならない。河内長野市では、係長がすばらしく、原案をひとりでまとめあげてしまったのですが。
- イ 資料を読み込まないといけないが、河内長野市の内容は捨てがたい。
- ウ 【部会長意見】 しばらくは意見を出し合って最後にまとめる方法もあるし、一つひとつまとめていく方法もある。
- エ 今日もらった資料について、まずは意見を出し合うのはどうか。
- オ いつまでにつくるのか。タイムリミットはあるのか。
- カ 【事務局意見】 できれば、本年度内にお願いしたい。
- キ マニュアルはリーフレットタイプにして追加していけるようにすれば、第1弾は早くできるのでは。
- ク 【事務局意見】 今まで委員が発表された事例を、事例集としてマニュアルに盛り込んでいきたいとも考えている。
- ケ 【部会長意見】 ネタはワークショップのものもあるので、それも活用したい。
- コ 誰がまとめるのか。コンサルの予算はあるのか。
- サ 河内長野市のように幹事会を設けて、まとめる人が集まるのはどうなのか。
- シ 【事務局意見】 小委員会でまとめていく方法もあります。
- ス 【部会長意見】 今回は部会があるので、その下に小委員会をつくって三層構造になるのはどうかと考える。具体的に誰が書くのかということなのだが。
- セ 事務局職員にまとめてもらうのはどうか。
- ソ 【部会長意見】 委員のみなさんがよければ、事務局でまとめてもらうことにする。ただ、どういう章立てにするのか、どういう内容を盛り込んでほしいのか、もう一回ぐらい議論したほうがよいと思う。資料を読み込んで意見交換をしてはどうか。
- タ 内容は似たようなものかと思うので、最初に読んだところに気持ちが引きずられるような気がする。
- チ 【部会長意見】 河内長野市と長岡京市でも導入部分が違う。導入部分というのはとても重要で、中身は同じようになるかもしれないが、見せ方が違ってくる。どれがずっと内容が入ってくるのか、抵抗を感じるのか、そのような意見もいただきたい。

まとめ方は、委員が大きな枠組みや内容を議論していくので、それに合わせて事務局がまとめていくということをお願いしたい。

5 職員研修会の実施について

職員研修会の実施について、日程調整等の事務連絡を行った。また、委員から次のような意見があった。

- (1) 意見交換のワークショップについて、職員から意見が出やすいテーマを設定してほしい。
- (2) 今まで意見交換の時間が少なかったなので、研修時間を30分延ばし、2時間30分

としたのはよい。

- (3) 職員全員が研修を受講できるよう事業を加速させてほしい。
- (4) 管理職に積極的に参加してほしい。
- (5) 研修の欠席者がないように日程を設定してほしい。

6 閉会